

Johann Sebastian Bach »Matthäus-Passion« BWV244



J.S. バッハ 《マタイ受難曲》 演奏会

2020年 **3月22日** (日) 13:30 開場 14:00 開演 全編字幕付き上演
北杜市 ハケ岳やまびこホール 入場料：2,000円 学生以下：1,000円 全席自由



ソプラノ	川口聖加	高橋侑希	守木詩織
メゾソプラノ	山下牧子	中村香織	久保田里奈
アルト	小原伸枝		
テノール	新海康仁		
イエス	小原浄二	ペテロ・ユダ	奥村泰憲
		ピラト	小林由樹

合唱団『甲府コレギウム・アウレウム』 北杜市明野少年少女合唱団 (合唱指揮：伊藤寛)
山梨バッハアカデミー・バロックオーケストラ
コンサートマスター 高橋真二 コンサートミストレス 大西律子
コンティヌオマスター 諸岡範澄 リュート 金子浩
チェンバロ・オルガン 辰巳美納子 ヴィオラ・ダ・ガンバ 平尾雅子 ほか
福音書記者・指揮 片野耕喜

主催：マタイ受難曲演奏会実行委員会 北杜市教育委員会 助成：NPO法人山梨メセナ協会

後援：国立大学法人山梨大学 山梨県 山梨県教育委員会 山梨日日新聞社 山梨放送 テレビ山梨 テレビ朝日甲府支局
朝日新聞甲府総局 産経新聞甲府支局 毎日新聞甲府支局 読売新聞甲府支局 共同通信社甲府支局 時事通信社甲府支局
エフエム富士 エフエムハケ岳 ハケ岳ジャーナル 北杜市観光協会 東京藝術大学同声会山梨支部 山梨大学音楽科同窓会

<お問い合わせ> Mail: morita@yamanashi.ac.jp Tel: 080-9535-3637 (森田)



2016年3月 山梨初演のゲネプロから(キングスウェルホール、甲斐市)

J.S.Bach »Matthäus-Passion« BWV244

J.S.バッハ《マタイ受難曲》

4年前の感動を再び！

ドイツ・バロック音楽を代表するJ.S.バッハの最大にして最高傑作。このオラトリオはイエス・キリストの受難物語を、「マタイによる福音書」に従って独唱、重唱、合唱、管弦楽を用いて作曲された一大叙事詩です。全編にわたって鳴り響くバッハの精緻で美しい音楽、痛切なまでの和音、情感あふれる独唱と合唱により、聴く人の心に大きな感動をもたらします。

2016年3月、甲斐市のキングスウェルホールで行われたバッハ《マタイ受難曲》山梨初演。圧倒的なソリスト陣の歌唱、日本を代表する古楽器プレイヤーたちの名演、アマチュアながら高いレベルをもつ KoCoAによって初めて山梨で響いた《マタイ受難曲》は大反響を呼び、その再演が待ち望まれていました。二重合唱、二重オーケストラの編成、さらには演奏困難な古楽器群が必要であるため、地方での完全上演は稀ですが、北杜市の協力を得て、またKoCoA 主宰の片野の演奏仲間を中心としたソリスト・器楽奏者により今回の再演が実現しました。今回もまた共演していただける「北杜市 明野少年少女合唱団」の素晴らしいコーラスもお楽しみいただけます。

2020年、バッハ没後270年、オリンピックイヤーにあの感動が八ヶ岳に甦ります。

最新情報

<http://kofu.collegiumaureum.web.fc2.com>

<https://www.facebook.com/ChorKoCoA>

合唱団『甲府コレギウム・アウレウム』(KoCoA)

2003年に山梨大学の片野教授が立ち上げた教育と地域貢献のための混声合唱団。県内の学生や、教職員、一般の愛好家からなり、最近では文化庁などの助成金によりバッハの大曲にも取り組んでいます。クリスマスコンサートを行うために発足しましたが、その後欧米の様々な時代の名曲を演奏してきており、2013年富士の国やまなし国文祭においてバッハの「ヨハネ受難曲」、2016年「マタイ受難曲」(甲斐市)、2018年ブクステフーデ「われらがイエスの御体」(甲府市・北杜市)、2019年バッハ「口短調ミサ曲」(南アルプス市)など、山梨の地に美しい音楽を紹介しています。

山梨バッハアカデミー・バロックオーケストラ

バロックチェロの諸岡範澄氏を中心に、山梨と東京近郊の古楽器奏者で組織するオーケストラ。KoCoAと定期的に共演している団体で、国文祭のバッハアカデミーではレクチャーコンサートも開催するなど、ピリオド楽器の奏法について普及活動をしています。

八ヶ岳やまびこホール
〒408-0002 山梨県北杜市高根町村山北割3315

- 電車：JR中央本線長坂駅よりタクシーで約8分
- 車：中央自動車道長坂ICより約5分